

I .平成26年度実施アンケートについて

○平成 26 年度卒業予定者アンケート等実施要領

1. 目的

「熊本大学卒業(修了)予定者、卒業(修了)生及び就職先アンケート並びに社会人大学院生ニーズアンケートの指針」に基づき、平成 26 年度卒業予定者アンケートを次により実施し、その結果をもって本学の教育により学習成果が上がっているかについて検証し、教育課程の改善に資することを目的とする。

2. 調査対象

平成 26 年度に実施するアンケート調査の対象は、次のとおりとする。

- (1) 卒業予定者アンケート 平成 27 年 3 月卒業予定者
- (2) 修了予定者アンケート 平成 27 年 3 月修了予定者
- (3) 卒業生アンケート 平成 24 年 3 月、平成 22 年 3 月及び平成 17 年 3 月卒業生
- (4) 修了生アンケート 平成 24 年 3 月、平成 22 年 3 月及び平成 17 年 3 月修了生
- (5) 就職先アンケート 本学卒業(修了)生の就職先

3. 調査時期

- (1) (2) : 平成 27 年 1 月～3 月
- (3) (4) (5) : 平成 26 年 11 月～27 年 1 月

4. アンケートの配布等の分担

アンケートの配布・回収等については、次のとおり分担する。

種別	配布・回収
卒業予定者アンケート	各部局
修了予定者アンケート	各部局
卒業生アンケート	学務エッセ
修了生アンケート	学務エッセ
就職先アンケート	学務エッセ

○熊本大学卒業(修了)予定者、卒業(修了)生及び就職先アンケート並びに社会人大学院生ニーズアンケートの実施に係る指針

第1 この指針は、熊本大学及び熊本大学大学院(以下「本学」と総称する。)の卒業(修了)予定者、卒業(修了)生及びその就職先に対して行うアンケート並びに社会人大学院生に対して行うアンケートの実施に関し、基本的な事項を定める。

第2 卒業(修了)予定者アンケート

対象：アンケート実施年度に卒業(修了)の年次にある者

目的：卒業年次にある者に対して学士課程における学習成果の、修了年次にある者に対して大学院課程における修得すべき知識・能力の修得度合い等について意見を聴取し、もって各教育プログラムの教育効果の検証に資するもの。

時期：毎年度1月から3月までの間に実施するものとし、アンケート結果の分析はアンケートを実施した年度の翌年度に行うものとする。

第3 卒業(修了)生アンケート

対象：アンケート実施年度から遡って、3年、5年及び10年前の卒業(修了)生

目的：卒業(修了)生に対して、在学中に身に付けた能力及び資質並びに当該能力等の実社会での有用度、社会人として必要なこと等について、就職先等における社会経験に基づく意見を聴取し、もって本学の教育の効果の検証に資するもの。

時期：認証評価を受ける年度の前々年度の7月から9月までの間を目処として実施するものとし、アンケート結果の分析は認証評価を受ける年度の前年度8月までに行うものとする。

第4 就職先アンケート

対象：アンケート実施年度から3年以内の各年度において、本学の卒業(修了)生を採用した企業等のうち採用数等を考慮して選定した150社程度

目的：就職先に対して、卒業(修了)生に係る評価、就職先が必要とする及び学生時代に身に付けておくべき能力その他の本学の教育内容等に関する意見を聴取し、もって本学の学位授与方針、学習成果等が社会、産業界等から要請される人材の育成に適したものになっているかの検証に資するもの。

時期：認証評価を受ける年度の前々年度の7月から9月までの間を目処として実施するものとし、アンケート結果の分析は認証評価を受ける年度の前年度8月までに行うものとする。

第5 社会人大学院生ニーズアンケート

対象：社会人入試の区分で入学した大学院生

目的：社会人大学院生に対して、学修を継続するに当たり社会人特有の観点から本学の教育環境の改善について意見を聴取し、もって本学の教育環境の改善に資するもの。

時期：社会人大学院生ニーズアンケートは、認証評価を受ける年度の前々年度の10月を目処として実施するものとし、アンケート結果の分析は当該年度の12月までに行うものとする。この場合において、ファカルティ・ディベロップメント委員会(以下「FD委員会」という。)の委員長は、分析の結果を研究科長及び教育部長に通知し、当該結果に基づく措置内容について当該年度末までに報告を求めるものとする。

第6 第2から第5までのアンケートの項目及びその内容は、FD委員会において審議する。

第7 第2から第5までのアンケートは、学校教育法(昭和22年法律第26号)第109条第2項に規定する認証評価の証憑書類として足りる内容とする。

第8 アンケート結果の取りまとめは、各部局による分析を踏まえてFD委員会が行う。なお、アンケート結果の事務的な集計は、学生支援部学務ユニットにおいて行う。

第9 副学長(教育・学生支援担当)が必要と認めるときは、第2から第5までに定めるもの以外のアンケートを実施することができる。この場合において、アンケートは、FD委員会が実施するものとする。

附 則

この指針は、平成26年11月5日から施行する。

○各種アンケートの回収率

卒業生アンケート

	平成16年度			平成21年度			平成23年度			年度不明	回収件数 /卒業者 数	回収件数 /発送件 数
	卒業者数	発送件数	回収件数	卒業者数	発送件数	回収件数	卒業者数	発送件数	回収件数			
文学部	181	55	7	185	128	26	177	139	26		10.9%	18.3%
教育学部	331	289	50	290	188	36	304	352	48	1	14.5%	16.2%
法学部	256	169	22	201	80	17	203	136	23		9.4%	16.1%
理学部	189	42	5	188	131	7	193	173	24	1	6.3%	10.4%
医学科	94	68	3	88	70	2	98	97	8		4.6%	5.5%
保健学科	160	146	9	161	144	23	157	137	15		9.8%	11.0%
薬学部	88	63	11	40	30	2	93	64	11	1	10.9%	15.3%
工学部	573	210	16	589	251	21	540	248	33		4.1%	9.9%
小計	1,872	1,042	123	1,742	1,022	134	1,765	1,346	188	3	8.3%	13.0%

修了生アンケート

	平成16年度			平成21年度			平成23年度			年度不明	回収件数 /卒業者 数	回収件数 /発送件 数
	卒業者数	発送件数	回収件数	卒業者数	発送件数	回収件数	卒業者数	発送件数	回収件数			
教育学研究科	58	0	0	51	33	4	41	38	10		9.3%	19.7%
社会文化科学研究科	65	19	1	97	42	5	72	27	7		5.6%	14.8%
自然科学研究科	401	436	28	461	341	42	533	604	95		11.8%	11.9%
医学教育部	43	1	0	65	0	0	92	0	0		0.0%	0.0%
保健学教育部	0	0	0	19	6	2	22	0	0		4.9%	33.3%
薬学教育部	83	62	6	89	60	12	49	15	8		11.8%	19.0%
小計	650	518	35	782	482	65	809	684	120		9.8%	13.1%

卒業予定者アンケート

	卒業者数	回収件数	回収件数 /卒業数
文学部	189	137	72.5%
教育学部	296	265	89.5%
法学部	218	115	52.8%
理学部	182	162	89.0%
医学科	92	76	82.6%
保健学科	154	149	96.8%
薬学部	89	72	80.9%
工学部	537	468	87.2%
小計	1,757	1,444	82.2%

修了予定者アンケート

	卒業者数	回収件数	回収件数 /卒業数
教育学研究科	35	31	88.6%
社会文化科学研究科	69	15	21.7%
自然科学研究科	446	352	78.9%
医学教育部	84	43	51.2%
保健学教育部	18	10	55.6%
薬学教育部	35	12	34.3%
法曹養成研究科	3	3	100.0%
小計	690	466	67.5%

就職先アンケート

発送件数	回収件数	回収件数 /発送件 数
1,061	328	30.9%

熊本大学の教育に関するアンケート(回答用紙兼用)

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。熊本大学をご卒業後、月日が経っておりますが、皆様方各方面でますますご活躍のことと存じます。

さて、本調査は、熊本大学の卒業生のみなさまを対象としたアンケートです。

平成23年1月の朝日新聞社の「『教育』をテーマにした全国世論調査結果」において、日本の大学が世界に通用する人材や社会、企業が求める人材を育てているかとの質問に、6割を超える国民が否定的な回答をしています。

グローバル化や少子高齢化など社会の急激な変化に対応するための基礎的な力を有し、将来に活路を見いだす原動力となる有為な人材を社会に送り出すため、熊本大学をよくご存知のみなさまに、実社会における多様な経験に基づく貴重なご意見を賜り、教育の改善に活用させていただき、高等教育機関としての責任を果たしていく所存です。

ご多忙のところ大変恐れ入りますが、母校である熊本大学が「憧れられる大学」となるべく、本アンケートの回答についてご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。 謹白

◎回答は、本アンケート票の回答欄に直接ご記入の上、同封の返信用封筒により、平成27年1月30日(金)までにご投函ください。

◎回答結果は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づいて、熊本大学において適切に管理し、個人や団体が特定できる形での公表はいたしません。

Q1 あなたご自身について教えてください。

1. あなたが卒業した学部等について、該当する番号をご記入下さい。

- 1 文学部 2 教育学部 3 法学部 4 理学部 5 医学部(医学科) 6 医学部(保健学科)
7 薬学部 8 工学部

2. 卒業年度を西暦又は和暦でご記入下さい。

3. 男性は「1」を、女性は「2」をご記入下さい。

Q2 勤務先について教えてください。

1. 勤務先の主たる業種について、該当する番号をご記入下さい。

- 1 農業、林業 2 漁業 3 鉱業、採石業、砂利採取業 4 建設業
5 製造業 6 電気・ガス・熱供給・水道業 7 情報通信業 8 運輸業、郵便業
9 卸売業、小売業 10 金融業、保険業 11 不動産業、物品賃貸業 12 学術研究、専門・技術サービス業
13 宿泊業、飲食サービス業 14 生活関連サービス業、娯楽業 15 教育、学習支援業 16 医療、福祉
17 複合サービス事業 18 サービス業(他に分類されないもの) 19 公務(他に分類されるものを除く) 21 その他()

2. 勤務先での雇用形態について、該当する番号をご記入下さい。

- 1 正社員 2 契約社員 3 派遣社員 4 パートタイム 5 その他()

3. 現在の勤務先について、該当する番号をご記入下さい。

- 1 現在の勤務先は卒業時と変わらない 2 卒業後に転職をした

※「2」を選択された方は、4.及び5.についてご回答下さい。

4. 卒業後何年目で転職されたか、該当する番号をご記入下さい(複数回転職された方は、最初の転職についてご記入下さい。)

卒業後 年目に転職

卒業生アンケート

Q5 Q4の表の(1)～(15)の能力・資質のうち、実社会における経験に照らして必要とお考えになるものについて、5つまでその番号をご記入下さい。

□	□	□	□	□
---	---	---	---	---

Q6 実社会での経験を重ねられた今、Q4の能力・資質のほかに、社会人として必要と思うもの、大学時代に身に付けておけばよかったこと、熊本大学の学生に学生時代に身に付けて欲しいことや経験して欲しいこと等について、自由にご記入下さい。

--

Q7 実社会での経験を踏まえて大学時代を振り返ったときに、有意義だったと思う授業がありましたらご記入下さい。また、よろしければ、その理由をご記入下さい。

--

Q8-1 工学部物質科学生命科学科又は薬学部を卒業された方にお尋ねします。これらの学科又は学部が独自に導入している「ISO14001」に基づく教育システムは、就職活動や卒業後に有用でしたか。また、よろしければ、その理由をご記入下さい。

- 1 有用であった 2 どちらともいえない 3 あまり有用でなかった

□

--

Q8-2 工学部マテリアル工学科、機械システム工学科、社会環境工学科、建築学科又は情報電気電子工学科を卒業された方にお尋ねします。これらの学科の教育プログラムは、日本技術者教育認定機構（JABEE）より技術者教育プログラムの認定を受けています。このJABEEに基づく教育システムは、就職活動や卒業後に有用でしたか。また、よろしければ、その理由をご記入下さい。

- 1 有用であった 2 どちらともいえない 3 あまり有用でなかった

□

--

Q9 教育を含め、熊本大学全般にわたって意見等ございましたら、自由にご記入下さい。

--

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

[本アンケートに関するお問い合わせ先]

国立大学法人熊本大学学生支援部学務ユニット

TEL: 096-342-2755 FAX: 096-344-4914

Mail: gak-kyomu@jimu.kumamoto-u.ac.jp

熊本大学大学院の教育に関するアンケート（回答用紙兼用）

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。熊本大学大学院をご卒業後、月日が経っておりますが、皆様方各方面でますますご活躍のことと存じます。

本調査は、熊本大学大学院の修了生のみなさまを対象としたアンケートです。

平成23年1月の朝日新聞社の「『教育』をテーマにした全国世論調査結果」において、日本の大学が世界に通用する人材や社会、企業が求める人材を育てているかとの質問に、6割を超える国民が否定的な回答をしています。

グローバル化や少子高齢化など社会の急激な変化に対応するための基礎的な力を有し、将来に活路を見いだす原動力となる有為な人材を社会に送り出すため、熊本大学大学院をよくご存知のみなさまに、実社会における多様な経験に基づく貴重なご意見を賜り、教育の改善に活用させていただき、高等教育機関としての責任を果たしていく所存です。

ご多忙のところ大変恐れ入りますが、母校である熊本大学大学院が「憧れられる大学」となるべく、本アンケートの回答についてご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。 謹白

◎回答は、本アンケート票の回答欄に直接ご記入の上、同封の返信用封筒もより、平成27年1月30日(金)までにご投函ください。

◎回答結果は、「独立行政法人等の保有する個人情報に関する法律」に基づいて、熊本大学において適切に管理し、個人や団体が特定できる形での公表はいたしません。

Q1 あなたご自身について教えてください。

1. あなたが修了した研究科・教育部等について、該当する番号をご記入下さい。

- 1 教育学研究科 2 社会文化科学研究科 3 自然科学研究科 4 医学教育部 5 保健学教育部
6 薬学教育部 7 法曹養成研究科

2. あなたが修了した課程について、該当する番号をご記入下さい。

- 1 博士前期課程・修士課程 2 博士後期課程 3 4年の博士課程 4 法科大学院の課程

3. 修了年度を西暦又は和暦でご記入下さい。

4. 男性は「1」を、女性は「2」を記入して下さい。

Q2 勤務先について教えてください。

1. 勤務先の主たる業種について、該当する番号をご記入下さい。

- 1 農業、林業 2 漁業 3 鉱業、採石業、砂利採取業 4 建設業
5 製造業 6 電気・ガス・熱供給・水道業 7 情報通信業 8 運輸業、郵便業
9 卸売業、小売業 10 金融業、保険業 11 不動産業、物品賃貸業 12 学術研究、専門・技術サービス業
13 宿泊業、飲食サービス業 14 生活関連サービス業、娯楽業 15 教育、学習支援業 16 医療、福祉
17 複合サービス事業 18 サービス業(他に分類されないもの) 19 公務(他に分類されるものを除く) 21 その他()

2. 勤務先での雇用形態について、該当する番号をご記入下さい。

- 1 正社員 2 契約社員 3 派遣社員 4 パートタイム 5 その他()

3. 現在の勤務先について、該当する番号をご記入下さい。

- 1 現在の勤務先は修了時と変わらない 2 修了後に転職をした

※「2」を選択された方は、4. 及び5. についてご回答ください。

4. 修了後何年目で転職されたか、該当する番号をご記入下さい(複数回転職された方は、最初の転職について記入して下さい。)

修了後 年目に転職

Q 4 次の表に掲げる能力・資質は、中央教育審議会答申や経済産業省が提唱する「社会人基礎力」等に基づき、社会人として必要と思われる能力・資質を類型化したものです。実社会での経験に照らしてお答えください。

1. 次の表の(1)～(15)の能力・資質を身に付けているか、について該当する番号を表の「A 4-1」欄にご記入下さい。なお、(7)については、具体的な能力・資質について括弧内にご記入下さい。

1 身に付いている 2 どちらともいえない 3 身に付いていない

2. 次の表の(1)～(15)の能力・資質を身に付けるのに何が役に立ったか、について該当する番号を表の「A 4-2」欄にご記入下さい(複数回答可)。

1 熊本大学大学院での教育 2 ゼミ 3 インターンシップ 4 サークル活動、先輩・友人との交流
5 アルバイト 6 留学による経験 7 勤務先での研修 8 独学・専門学校
9 勤務先では重視されない

	A 4-1	A 4-2
(1) コミュニケーション能力		
(2) 自己理解・主体的行動力		
(3) 課題発見・対応能力、企画力、計画力		
(4) 創造力・論理的思考力		
(5) 学習習慣・自己啓発力		
(6) コンプライアンス・倫理観・モラル		
(7) 専門知識・技能 ()		
(8) 文章表現力・数的処理能力		
(9) 国際感覚・異文化理解力		
(10) 外国語運用力		
(11) 情報通信技術(ICT)活用力		
(12) チームワーク・リーダーシップ		
(13) 一般的知識・幅広い教養		
(14) 統計分析・数値的分析力		
(15) 社会課題の俯瞰的理解		

修了生アンケート

Q5 Q4の表の(1)～(15)の能力・資質のうち、実社会における経験に照らして必要とお考えになるものについて、5つまでその番号をご記入下さい。

Q6 実社会での経験を重ねられた今、Q4の能力・資質のほかに、社会人として必要と思うもの、大学院時代に身に付けておけばよかったこと、熊本大学大学院の学生に学生時代に身に付けて欲しいことや経験して欲しいこと等について、自由にご記入下さい。

Q7 実社会での経験を踏まえて大学時代を振り返ったときに、有意義だったと思う授業がありましたらご記入下さい。また、よろしければ、その理由をご記入下さい。

Q8 薬学教育部を修了された方にお尋ねします。薬学教育部が独自に導入している「ISO14001」に基づく教育システムは、就職活動や卒業後に有用でしたか。また、よろしければ、その理由をご記入下さい。

1 有用であった 2 どちらともいえない 3 あまり有用でなかった

Q9 教育を含め、熊本大学大学院全般にわたって意見等ございましたら、自由にご記入下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

[本アンケートに関するお問い合わせ先]

国立大学法人熊本大学学生支援部学務ユニット

TEL : 096-342-2755 FAX : 096-344-4914

Mail : gak-kyomu@jimu.kumamoto-u.ac.jp

熊本大学の卒業生・修了生に関するアンケート（回答用紙兼用）

【ご担当各位】

本調査は、熊本大学の卒業生・修了生に関する教育成果等についてご教示を賜り、熊本大学の教育改善に役立てることを目的としています。

平成23年1月の朝日新聞社の「『教育』をテーマにした全国世論調査結果」において、日本の大学が世界に通用する人材や社会、企業が求める人材を育てているかとの質問に、6割を超える国民が否定的な回答をしているとの結果が示されました。グローバル化や少子高齢化など社会の急激な変化に直面している今、こうした変化に対応するための基礎的な力を有し、将来に活路を見いだす原動力となる有為な人材が切望されています。熊本大学は、教育の改善に努め、このような人材を社会に送り出すことで、高等教育機関としての責任を果たしていく所存です。

有為な人材の育成に当たり、本学が学生に身に付けさせようとする能力と、実社会が卒業生・修了生に期待する能力が乖離している現状を把握することが必要です。本学の卒業生・修了生を採用していただいている企業、団体等のみなさまに、個々の卒業生・修了生についてではなく、採用していただいている本学の卒業生・修了生に対する全体的なご意見をいただきたいと存じます。

ご多忙のところ大変恐れ入りますが、本アンケートの回答についてご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

◎回答は、本アンケート票の回答欄に直接ご記入の上、同封の返信用封筒により、平成27年1月30日（金）までにご投函下さい。

◎回答結果は、「独立行政法人等の保有する個人情報に関する法律」に基づいて、熊本大学において適切に管理し、個人や団体が特定できる形での公表はいたしません。

Q1 貴社・貴団体名を、次の欄にご記入下さい。

--

Q2 貴社・貴団体に勤務する 熊本大学出身者 の人数について、おわかりになる範囲で、およその人数でも結構ですので、該当する番号をご記入下さい。

1 0名 2 1~4名 3 5~10名 4 11名~19名 5 20名以上 6 把握していない

学部	文系		合計
	理系		
大学院	文系		
	理系		

※ここで、「1」をお選びになった場合は、Q3、Q4、Q7、Q8、Q9及びQ12についてご回答下さい。

「2」～「6」をお選びになった場合は、引き続きアンケートを継続させていただきます。

Q3 貴社・貴団体の主たる業種について、該当する番号をご記入下さい。

《業種コード》

- | | | | | |
|----------------|----------------------|---------------------|--------------------|--|
| 1 農業、林業 | 2 漁業 | 3 鉱業、採石業、砂利採取業 | 4 建設業 | |
| 5 製造業 | 6 電気・ガス・熱供給・水道業 | 7 情報通信業 | 8 運輸業、郵便業 | |
| 9 卸売業、小売業 | 10 金融業、保険業 | 11 不動産業、物品賃貸業 | 12 学術研究、専門・技術サービス業 | |
| 13 宿泊業、飲食サービス業 | 14 生活関連サービス業、娯楽業 | 15 教育、学習支援業 | 16 医療、福祉 | |
| 17 複合サービス事業 | 18 サービス業(他に分類されないもの) | 19 公務(他に分類されるものを除く) | 21 その他の業種() | |

就職先アンケート

Q4 貴社・貴団体の本社等の所在地・資本金・正規雇用者数について、該当する番号をお選びください。また、正規雇用者数に非常勤講師などを含めてください。

1. 本社等所在地について、該当する番号をご記入下さい。

- | | | | |
|---------------|--------------|---------------|------------|
| 1 熊本県 | 2 福岡県 | 3 佐賀県 | 4 長崎県 |
| 5 大分県 | 6 宮崎県 | 7 鹿児島県 | 8 沖縄県 |
| 9 東京 | 10 東京以外の関東地方 | 11 北海道・東北地方 | 12 愛知県 |
| 13 愛知県以外の中部地方 | 14 大阪府 | 15 大阪府以外の近畿地方 | 16 中国・四国地方 |
| 17 韓国 | 18 中国 | 19 台湾 | 20 香港 |
| 21 アメリカ合衆国 | 22 その他の外国 | | |

2. 資本金について、該当する番号をご記入下さい。

- | | | | |
|--------------|---------------------|-----------------|-------------|
| 1 3,000万円未満 | 2 3,000万円～5,000万円未満 | 3 5,000万円～1億円未満 | 4 1億円～5億円未満 |
| 5 5億円～10億円未満 | 6 10億円～50億円未満 | 7 50億円～100億円未満 | 8 100億円以上 |
| 9 該当しない | | | |

3. 正規雇用者数について、該当する番号をご記入下さい。

- | | | | | |
|------------|--------------|---------------|-----------------|-------------------|
| 1 30人未満 | 2 30人～100人未満 | 3 100人～300人未満 | 4 300人～1,000人未満 | 5 1,000人～5,000人未満 |
| 6 5,000人以上 | | | | |

Q5 現在、熊本大学は、学士課程、大学院課程のそれぞれにおいて次の「学士課程教育に期待される学習成果」や「大学院課程において修得すべき知識・能力」（以下「学習成果等」）の修得を目指して教育を実施しているところです。

貴社・貴団体に勤務する熊本大学の卒業生・修了生は、「学習成果等」を修得させる教育課程が導入されていなかった時期の教育課程により卒業又は修了しました。今後、「学習成果等」を修得させる教育課程により卒業生・修了生が出た時に、同じアンケートを行って教育の成果を検証するために、今回質問をさせていただくものです。

1. 「学習成果等」の必要性について、該当する番号を、表の「A5-1」欄にご記入下さい。

- 1 必要である 2 どちらともいえない 3 あまり必要でない

2. 「学習成果等」に相当する能力・資質を、熊本大学の卒業生・修了生はどの程度身に付けているかについて、該当する番号を、表の「A5-2」に欄にご記入下さい。

- 1 身に付けている 2 どちらともいえない 3 身に付けていない

<学士課程教育に期待される学習成果>		A5-1	A5-2
(1) 豊かな教養	教養ある社会人に必要な文化・社会や自然・生命に関する一般的知識を身に付け、異なる思考様式を理解し、知を高めていく主体的な学習態度が備わっている。		
(2) 確かな専門性	自らの専門分野の理論・概念や方法論に関する基本的知識を身に付け、当該分野の情報・データを活用し、問題解決のために応用できる。		
(3) 創造的な知性	自分で課題を発見し、解決のために必要な調査・研究及び実践に個人やチームで取り組み、その成果を論理的に発表・討議する能力を持っている。		
(4) 社会的な実践力	社会に対する幅広い関心を持ち、人々や社会との関わりの中で自分を見つめ、市民や職業人として必要なコミュニケーション能力、倫理観を身に付け、将来進むべき道を探求し、社会に貢献する意欲を持っている。		
(5) グローバルな視野	国際社会に積極的に参加するために必要な外国語運用能力と異なる価値観や文化に対する理解力を持ち、国際感覚を身に付けている。		
(6) 情報通信技術の活用力	社会生活に求められる情報通信技術（ICT）を活用するために必要な知識・技能・倫理を身に付けている。		
(7) 汎用的な知力	あらゆる専門分野や社会生活の基盤として求められる読解力、文章表現力、数的処理能力を身に付けている。		

就職先アンケート

Q 7. Q 6 の(1)～(15)の能力・資質のうち、貴社・貴団体にとって必要とお考えになるものについて、5つまで、その番号をご記入下さい。

Q 8 熊本大学では、学士課程においては「幅広く豊かな教養と確かな専門性を身に付け、社会に貢献するために必要な創造的知性と実践力を兼ね備え、グローバルな視野と国際的対話力を持った人材」の育成を目的とし、大学院課程においては「国際社会でリーダーシップを発揮するグローバルな研究者」、「研究マインドを備えた先導的高度専門職業人」、「国際的視野をもって現代社会で活躍する高度専門職業人」及び「地域社会を先導的研究者」の育成を目的としています。

こういった人材像は、貴社・貴団体が求める人材像とどの程度合致するかについて、該当する番号をご記入下さい。

1 合致する 2 どちらともいえない 3 あまり合致しない

Q 9 社会人として必要なこと、学生時代に身に付けておいて欲しい能力や資質、経験しておいて欲しいこと等を、自由にご記入下さい。

Q 10 熊本大学の卒業生・修了生について、どのような点を評価して採用していただいたか、自由にご記入下さい。

Q 11 昨今、若い世代の3年以内離職率が問題になっています。貴社・貴団体において、熊本大学の卒業生・修了生の3年以内離職率は何%程度かご記入下さい。

%程度

Q 12 熊本大学について、また熊本大学の卒業生・修了生について、どのようなイメージをお持ちであるか、自由にご記入下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

[本アンケートに関するお問い合わせ先]
国立大学法人熊本大学学生支援部学務ユニット
TEL : 096-342-2755 FAX : 096-344-4914
Mail : gak-kyomu@jimu.kumamoto-u.ac.jp

熊本大学の教育に関するアンケート (文学部総合人間学科人間科学コース)

0	1
---	---

本調査は、熊本大学の卒業予定者を対象としたアンケートです。熊本大学の学士課程教育の改善に役立てることを目的としています。ご協力くださいますようお願いいたします。回答結果は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づいて、熊本大学において適切に管理し、個人が特定できる形での公表はいたしません。

Q1 1～7の「学士課程教育に期待される学習成果」がどの程度身に付いたかについて、履修科目全体を思い浮かべて、該当する番号をそれぞれの欄にご記入下さい。また、1～7の「学士課程教育に期待される学習成果」以外に身に付いたと思う成果がありましたら、自由にお書き下さい。

1 身に付いた 2 どちらともいえない 3 身に付かなかった

1 豊かな教養	文化や社会、自然や生命に関する高い関心と一般的理解を持っている。	
2 確かな専門性	人間科学（認知哲学・芸術学・認知心理学）の基本的理論・概念について説明することができる。	
	人間科学（認知哲学・芸術学・認知心理学）における研究手法を使用することができる。	
	人間科学（認知哲学・芸術学・認知心理学）の最新動向について様々な情報源から自律的に学ぶことができる。	
3 創造的な知性	人間科学（認知哲学・芸術学・認知心理学）に関する知見を用いて、現実の課題を見出し、解決方法を提案することができる。	
4 社会的な実践力	柔軟に発想し、かつ物事を論理的に筋道立てて批判的に検討することができる。	
5 グローバルな視野	外国語の文献を読解することができる。	
	異なる社会や文化、異文化交流や国際交流に関心と深い理解をもち、広い視野から物事を理解できる。	
6 情報通信技術の活用力	インターネットを活用して情報を収集し、その的確な分析、コミュニケーションを行うことができる。	
7 汎用的な知力	相手に分かりやすく、相手の関心を惹きつける話し方で、情報や意見を伝えることができる。	
	明晰な理論の筋道と説得力のある表現を用いて、文章を作成することができる。	

上記1～7以外に身に付いたと思う成果

Q2 所属している学科・コース等の教育プログラム全体の満足度について該当する番号をご記入下さい。

1 満足した 2 どちらともいえない 3 満足しなかった

Q3 あなたの卒業後の進路選択に関し、所属している学科・コース等の教育プログラムの有用度について、該当する番号をご記入下さい。また、よろしければ、その理由をご記入下さい。

- 1 有用であった 2 どちらともいえない 3 あまり有用でなかった

理由

Q4 あなたの履修した教育プログラムの水準について、全体的な印象として該当する番号をご記入下さい。

- 1 非常に難しかった 2 難しかった 3 ちょうどよかった 4 易しかった 5 非常に易しかった

Q5 グローバル化の観点からお尋ねします。教養教育における語学の授業で、既修及び初修外国語の運用力はどの程度身に付いたかについて、該当する番号をそれぞれご記入下さい。

- 1 身に付いた 2 どちらともいえない 3 身に付かなかった

既修外国語

初修外国語

Q6 本学では「教養力」を、「変化の激しい社会にあって、地球規模の視野、歴史的な視点、多角的な視点で物事を考え、未知の事態や新しい状況に的確に対応していく力」と考えています。教養教育において、「教養力」は身に付いたかについて、該当する番号をご記入下さい。

- 1 身に付いた 2 どちらともいえない 3 身に付かなかった

Q7 予習・復習、資料収集、文献講読、レポート作成等の授業時間外の学習を、1日あたり平均してどの程度したかについて、試験時期等ではない普段の1週間の思い浮かべて該当する番号をご記入下さい。

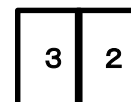
- 1 4時間以上 2 3~4時間 3 2~3時間 4 1~2時間 5 1時間未満

Q8 大学時代を振り返って、有意義だったと思う授業がありましたら記入して下さい。また、よろしければ、その理由をご記入下さい。

Q9 熊本大学で受けた教育のこと、熊本大学で勉強して思ったこと等、熊本大学に対して是非言っておきたいことがありましたら、何でも結構ですので自由にご記入下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

熊本大学大学院の教育に関するアンケート (教育学研究科修士課程学校教育実践専攻)



本調査は、熊本大学大学院の修了予定者を対象としたアンケートです。熊本大学の大学院教育の改善に役立てることを目的としています。ご協力くださいますようお願いいたします。回答結果は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づいて、熊本大学において適切に管理し、個人が特定できる形での公表はいたしません。

Q1 1～4の「大学院課程教育において修得すべき知識・能力」がどの程度の身に付いたかについて、履修科目全体を思い浮かべて、該当する番号をそれぞれの欄にご記入下さい。また、1～4の「大学院課程教育において修得すべき知識・能力」以外に身に付いたと思う成果がありましたら、自由にご記入下さい。

1 身に付いた 2 どちらともいえない 3 身に付かなかった

1 高度な専門的知識・技能及び研究力	広い視野に立った精深な教育学的学識及び研究方法を修得している。	
	教育の場に関する理論と実践の研究能力、及び高度な専門性を持っている。	
	発達途上にある子どもたちに対する専門的な立場からの理解力・実践的指導力を持ち、現在及び近未来における学校を取り巻く激しい社会的変動に対応し、現代的教育課題を解決できる的確な知識、技能、実践力を有している。	
2 学際的領域を理解できる深奥な教養力	現代的教育課題に関する高度な知識を持ち、現代的教育課題を分析し、解決できる能力を持っている。	
	いじめ・不登校、校内暴力等の今日的課題や情報ネット社会への対応力等、生徒指導に関わる実践力や集団指導力を持っている。	
	豊かな人間性や社会性を育む対人関係能力、コミュニケーション能力を持つとともに、特別な教育的ニーズのある児童生徒に係わる特別支援教育の実践的指導力を持っている。	
	先端的な教育内容・活動、及び教科横断的な教育システムにより、学校教員に必要とされる総合的な資質能力を持っている。	
3 グローバルな視野と行動力	現代的な教育課題を国際的視野と国際的感覚に基づいて解決できる能力を持っている。	
	国際的に通用する専門的知識・技能及び自らの考えをもち、それらを専門家に対しても、一般の人々にも、明確に伝えることができるコミュニケーション能力を修得している。	
	外国文献を読解する能力を修得している。	
4 地域社会を牽引するリーダー力	学校・地域社会の連携活動を指導的に推進する地域スクールリーダーとしての役割を果たすことができる。	
	学校現場における先端的な生徒指導、生活指導、特別支援教育に係わるスクールリーダーとしての役割を果たすことができる。	
	学校現場における課題の指摘、ならびに課題解決に向けた理論的知識を持っている。	
	研究グループをコーディネートできる能力を持っている。	

上記1～4以外に身に付いたと思う成果

修了予定者アンケート

Q2 所属している研究科・教育部、専攻等の教育プログラム全体の満足度について該当する番号をご記入下さい。

- 1 満足した 2 どちらともいえない 3 満足しなかった

Q3 あなたの修了後の進路選択に関し、所属している研究科・教育部、専攻等の教育プログラム有用度について、該当する番号をご記入下さい。また、よろしければ、その理由をご記入下さい。

- 1 有用であった 2 どちらともいえない 3 あまり有用でなかった

理由

Q4 あなたの履修した教育プログラムの水準について、全体的な印象として該当する番号をご記入下さい。

- 1 非常に難しかった 2 難しかった 3 ちょうどよかった 4 易しかった 5 非常に易しかった

Q5 大学院時代を振り返って、有意義だったと思う授業がありましたらご記入下さい。また、よろしければ、その理由をご記入下さい。

Q6 熊本大学で受けた教育のこと、熊本大学で勉強して思ったこと等、熊本大学に対して是非言っておきたいことがありましたら、何でも結構ですので自由にご記入下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

このアンケートに関する問合せ先：学生支援部学務エイト教育評価担当 電話：342-2755,2116

卒業予定者アンケート及び修了予定者アンケート種別一覧

部局名		プログラム名称
文学部		総合人間学科人間科学コース
		総合人間学科社会人間学コース
		総合人間学科地域科学コース
		歴史学科歴史資料学コース
		歴史学科世界システム史学コース
		文学科東アジア言語文学コース
		文学科欧米言語文学コース
		文学科超域言語文学コース
		コミュニケーション情報学科コミュニケーション情報学コース
教育学部		小学校教員養成課程
		中学校教員養成課程
		特別支援学校教員養成課程
		養護教諭養成課程
		地域共生社会課程
		生涯スポーツ福祉課程
法学部		法学科法学コース
		法学科公共政策コース
理学部		理学科
医学部		医学科
		保健学科看護学専攻
		保健学科放射線技術科学専攻
		保健学科検査技術科学専攻
薬学部		薬学科
		創薬・生命薬科学科
工学部		物質生命化学科
		マテリアル工学科
		機械システム工学科
		社会環境工学科
		建築学科
		情報電気電子工学科
		数理工学科
教育学研究科	修士	学校教育実践専攻 教科教育実践専攻
社会文化科学研究科	博士前期	公共政策学専攻
		法学専攻
		現代社会人間学専攻 文化学専攻 教授システム学専攻
	博士後期	人間・社会科学専攻 文化学専攻 教授システム学専攻
自然科学研究科	博士前期	理学専攻 物理科学コース
		理学専攻 化学コース
		理学専攻 地球環境科学コース
		理学専攻 生命科学コース
		数学専攻 基礎数理コース
		数学専攻 応用数理コース
		複合新領域科学専攻
		物質生命化学専攻
		マテリアル工学専攻
		機械システム工学専攻
		情報電気電子工学専攻
		社会環境工学専攻
		建築学専攻
		理学専攻 数理科学講座
		理学専攻 物理科学講座
		理学専攻 化学講座
		理学専攻 地球環境科学講座
		理学専攻 生命科学講座
		複合新領域科学専攻
		産業創造工学専攻 物質生命化学講座

	博士後期	産業創造工学専攻	マテリアル工学講座
		産業創造工学専攻	先端機械システム講座
		産業創造工学専攻	機械知能システム講座
		情報電気電子工学専攻	先端情報通信工学講座
		情報電気電子工学専攻	機能創成エネルギー講座
		情報電気電子工学専攻	人間環境情報講座
		情報電気電子工学専攻	応用数理講座
		環境共生工学専攻	広域環境保全工学講座
		環境共生工学専攻	社会環境マネジメント講座
		環境共生工学専攻	人間環境計画学講座
		環境共生工学専攻	循環建築工学講座
医学教育部	修士	医科学専攻	
	博士	医学専攻	
保健学教育部	博士前期	保健学専攻	
	博士後期	保健学専攻	
薬学教育部	博士前期	創薬・生命薬科学専攻	
	博士後期	創薬・生命薬科学専攻	
	博士	医療薬学専攻	
法曹養成研究科	専門職	法曹養成専攻	